

無題

山城30回 森田和久

京都第三中学校・山城高等学校創立百年、おめでとうございます。自分が山城高校を卒業したのは昭和五十三年。とにかく自由な雰囲気のある学校でした。髪を伸ばし、ラッパズボンに高下駄のサンダルを履き、私服で通っていたあの頃。もうずいぶん昔のことになりますから、断片的にしか記憶を辿ることはできませんが、毎日が本当に楽しかったことは覚えています。自分は商業科でしたので、簿記や計算実務・電算機一般など、普通教科以外のこともたくさん学ぶことができました。また、講座制授業のため、一般教科では普通科の友達との交流も多く、みんなそれぞれ和気藹々といった感じでした。S館・N館・E館・W館と、どこでどんなことを学んだかは、もう定かではありませんが、当時の各学舎で過ごした三年間のことは、とても懐かしく思い出されます。

学園祭シーズン、数々の楽しいイベントが行われた中庭で

は、仲間と一緒に毎日ギターを掻き鳴らしていたこともありました。控え所ではロックコンサートが行われ、夜のグラウンドではマイムマイムが流れて、夜祭名物のフォークダンス（自分は二年間、警備委員をやっていました）がファイヤーを囲んで盛大に行われていました。それらはみんな、当時の山城の風物詩といえるものでした。

三年の時は生徒会の常任中央委員として、会長と一緒に制服導入反対のことなど、鉄筆でガリ版刷りのピラを作ったり、先生たちにいろいろな意見を言いに行ったりしたこともあったように思います。

自分は、いわゆる机上の勉強はあまりよくできませんでしたが、当時の山城は「楽しく生きる力」をたくさん身につけさせてくれました。時代はあの頃とは大きく変わりましたが、山城の教育原点は、どうかこれからも変わらないでほしいと願っています。

（現 京都市立鷹峯小学校教諭）



山城2回 森貞男